

一般質問

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。



一般質問 9月12日



一般質問 9月13日

質問▼醸造用ぶどう試験栽培の今後のスケジュールを問う。



醸造用ぶどう

令和みらい
田中なかひで秀幸

生産推進事業について

質問日 9月12日

答弁▼当初、試験収穫期間として予定していた令和4年から令和6年までの3年間は、試験栽培を継続しながら、気象状況を把握し、栽培管理方法や収穫量などのデータを蓄積する。また、試験醸造したワインの品質検査や試験販売などを進めていく。

質問▼経済振興の観点から、国の特区制度を活用しながら伊達産ぶどうを使い伊達で製造するのが最終目標で、スペクリングワイン醸造のためのワインリーの設立も検討したい。

質問▼試験栽培後の展開の考え方を問う。

●それ以外の質問

・災害時の対応について



関内地区にある醸造用ぶどう畠

公明党
大光力

質問日 9月12日



閉校に伴うスポーツ施設のあり方 ・レジ袋削減の取組について

質問▼平成29年に閉校になつた達南中学校、令和6年3月までに閉校となる有珠・長和小学校の体育館等の利活用について問う。



利活用を待つ旧達南中学校

質問▼レジ袋削減に向けて、「ミ出しに必要な「指定ゴミ袋」を買い物袋の代わりに販売する自治体が増えている。

本市としてもごみとして捨てられるレジ袋の総量を抑え、プラスチックごみ削減を目的

中学校は避難施設として考えている。しかし、普段利用しているため、建物の老朽化が進んでおり、早急に内部で慎重な議論を進め、これから閉校舎も含め、年度内に方向性だけは示していく。

に検討すべきと考えるが見解を問う。

答弁▼指定ゴミ袋を買い物袋の代わりとする取組は、ごみの軽量化の方法の一つとして有効であるほか住民の利便性の向上につながるものと考えるが、販売単価、需要の有無や指定ごみ袋販売店など関係者との調整等の課題はある。

今後、2年間をかけてごみ袋の形や料金などを検討していく。

質問▼伊達市の認知症サポーターの数はどれくらいか。

答弁▼4,517名の養成を行った。

質問▼認知症カフエや様々なコミュニティでのサポーターの活用は考えているか。

答弁▼市内においては各地域でのサポーターの活用実績は現時点ではない。ただ国からの活用にあたっての方針もあり、潜在的な可能性は低くはないと考える。

マスク着脱の現状はどのようなものか。

答弁▼強制はできないが、屋外で距離が保てる場合などでは、外すように指導をしている。

ただ、常に着用している生徒がいることも把握しており、外すことができなくなってきた生徒も少なからずいる。

令和みらい
佐藤まさ則

質問日 9月12日

認知症サポーター、新型コロナウイルス感染症対策について



認知症サポーター養成講座のご案内

質問▼新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ熱中症対策として、マスクの着脱に対し児童生徒に外すよう促すだけではなく、我々大人が積極的に外していく必要があると考

公明党 渡辺雅子

質問日 9月12日



新型コロナウイルス感染症小児の接種率と側溝の管理について

質問▼新型コロナウイルス感染による小児の腎機能・肝機能障害の有無と18歳未満の接種率や感染者率、また発熱外来の設置状況や本市の今後の取り組みについて問う。



泥まみれの北舟岡駅駐輪場

質問▼伊達まちカードの今後の考えは。

質問▼床上浸水となりうる危険な状態を目指します。道路の側溝の点検・管理と道路の汚染の対応などを問う。

答弁▼18歳未満の接種率は3回目接種全国36%本市においては52%である。肝機能・腎機能障害の報告はない。

全国のデータで、19歳以下は24%、20歳以上では12%、比べると倍となっている。本市においても子どもの感染者率は高いと考える。

発熱外来は6箇所で対応している。今後の本市の取り組みについては、オミクロン株対応ワクチンが9月下旬に入荷予定。小児のワクチン3回目接種も可能となり集団接種も設定し希望される方には早めに打つてあげたい。

令和みらい 荒井秀樹

質問日 9月12日



総合計画の進ちょく状況は

質問▼伊達まちカードの今後の考えは。

答弁▼スマートフォンのアプリでの運用も検討しており、QR決済も容易なことから有力候補である。

質問▼愛のりタクシーや大滝の移動手段支援の考えは。

答弁▼自家用車利用が多いのが現状であるが、根本的に何が必要か考えて、進めていくたい。大滝区は住民が移動支援を前向きに考えている雰囲気はある。

質問▼市民力の活用は。

答弁▼みらい塾やファシリテーター講座の卒業生から実践の場の要望があり、できるることを検討していく。



市民が満足する計画になっているか。

質問▼本市の雇用問題は。

答弁▼シルバー人材センターは重要な組織であり、定期的に意見交換、支援している。

質問▼災害時に市民から情報提供できる仕組みは。

答弁▼まだ詳細な仕様は決まっていないが、LINEで位置情報付きの画像投稿ができる仕組みがあり、可能性はある。

無会派
吉野英雄

質問日 9月13日



教育現場でのマイナンバー申請推進は中止を

質問▼マイナンバーカードの普及促進を子どものいる教育現場に持ち込むのはいかがかと思う。中止すべきではないか。

答弁▼普及促進は国の政策であり、あらゆる場面で行うことは当然と考える。



の準備状況はどうか。

答弁▼一般、特別会計を対象に消費税課税区分に関し調査を実施し課題の洗い出しを行った。

インボイス発行事業者の登録については、調査を踏まえ令和5年3月までに登録すべき会計を判断し、国に申請を予定している。

質問▼8月の大雨では緊急メールで土砂災害避難情報が流れ、市民から私も問い合わせがきた。

長流川の水位計は大滝区優徳と上長和に設置されている。もっと細目に情報が知らされるようにならないか。

答弁▼道や胆振支庁、気象庁等関係機関とどのような連携ができるか検討したい。

令和みらい
辻浦義浩

質問日 9月13日



伊達火葬場と伊達市監査基準について

質問▼火葬場の運営管理については、西胆振行政事務組合から伊達市に事務委託し、伊達市が地元事業者へ委託し、火葬及び収骨や待合業務・清掃などの衛生管理など様々な業務を行っている。

火葬場の業務は、特殊で専門性が必要な仕事であることから、現在の職員数で対応できる体制にあるか問う。

答弁▼火葬場専属職員が2人だった時期は、「棺」を下るす際、利用者に待っていたことが多かったが現在は4人体制で行っているので、十分対応可能な体制と考えている。

質問▼火葬場内の業務において、委託業者と葬儀社が連携して円滑に運営るべきと考えるが、双方が協議する場などがあるのか問う。



伊達火葬場

答弁▼新施設開設前に一度実施した。今後は少なくとも年1回は必要ではないかと考えてるので、具体的に検討する。

質問▼今後、効果的に運用するために指定管理に移行する考えがあるか問う。

答弁▼指定管理がそぐわない場合もあるので、業者の考え方、意向も踏まえながら判断していく。

令和みらい 小久保重孝

質問日 9月13日



SDGsへの取り組みと 大滝区の振興策について

質問▼SDGsへの取り組みについて。自然エネルギー推進に対する考え方について問う。

答弁▼脱炭素社会の実現のため、省エネや再生可能エネルギーを活用する取組を進めていく必要がある。



来春開業するはちみつ事業のための改修の様子

質問▼大滝で計画されている大型風力発電のこともあるが、伊達市として適地、不適地のガイドラインを設けることで自然エネルギーへの姿勢を示し、なおかつ無駄な調査を抑制することはできないか。

答弁▼環境省のゾーニング事業で石狩市が適格地、不適格地を設け企業誘致に繋げているが、配慮書に匹敵する作業が必要で、それを設けても抑制する力はないと認識している。

質問▼SDGsへの取り組みについて今後問題になると思われる曖昧な部分がある。対策を問う。

答弁▼事業者間で協定書を結び運営に支障をきたさないように進める。

質問▼大滝でのはちみつ事業について今後問題になると思われる曖昧な部分がある。対策を問う。

答弁▼事業者間で協定書を結び運営に支障をきたさないように進める。

質問▼近年、多くの自治体でのドローン導入が進んでいる中で、本市も常に多岐に渡る災害の早期情報収集を行い的確な情報を市民周知する事が必要と考えるが。

答弁▼機動力や情報収集の高さを併せ持つ事から早期避難行動が実現できると考えています。

質問▼鹿等の有害鳥獣の生態調査をドローンの熱感知機能を使い生息域を調査し、獣友会の側面支援と言う形で戦略的に行うのが今後の駆除効率に有効と考えるが。

答弁▼導入せざる得ない状況。前向きに検討したい。



多くの自治体がドローン導入を進める

自民クラブ 岩村和則

質問日 9月13日



多角的利活用がある ドローン導入の可能性について

質問▼近年、多くの自治体でのドローン導入が進んでいる中で、本市も常に多岐に渡る災害の早期情報収集を行い的確な情報を市民周知する事が必要と考えるが。

答弁▼機動力や情報収集の高さを併せ持つ事から早期避難行動が実現できると考えています。

質問▼分析や調査は的確な判断と結びつくが市長の見解は。影してみてはどうか。

答弁▼学校活動において多岐に渡り利活用が可能と考える。子ども達が俯瞰（ふかん）して物事を考える能力が高まり期待がもてる。



な
ず
な
一
洞
ほ
ら
口
ぐ
ち
雅
ま
さ
章
ゆ
き

質問日 9月13日

伊達市の自治会への支援とごみステーションについて



るポスティングを検討する。

質問 ▼ 地域コミュニティの核である自治会は、高齢化、加入率の減少等の課題を抱えている。

伊達市が令和4年度に8年ぶりに実施した単位自治会アンケート結果を踏まえ、地域の現状と課題を伺う。

質問 ▼ 伊達市として自治会の課題解決に向けた取り組みを伺う。

答弁 ▼ アンケート結果は前回と比較して大きな変化は無いものの、特に会員数の減少や役員のなり手不足の問題は、さらに深刻化している。



設置基準が必要なごみステーション

質問 ▼ 新規アパートの増加と高齢化等により、ごみステーションの設置基準の作成と管理制度の整備の検討が急務と思うが考え方を伺う。

答弁 ▼ ごみステーション設置要綱の作成を検討する。管理については、除雪を含め、自治会任せにならない方策を検討していく。

【水道料金等負担支援】 ★令和4年7月28日(木)

topic
1

第3回 臨時会

【学校給食費保護者負担支援】

- 事業概要：「口ナ禍における原油価格・物価高騰の影響を鑑み、令和4年度の水道料金又は簡易水道料金を納めている者に対し、5,000円を上限に給付金を支給する。総事業費約9,000万円を可決。

【学校給食費保護者負担支援】

- 事業概要：「口ナ禍における原油価格・物価高騰の影響を鑑み、令和4年度の学校給食費を納めている児童生徒がいる子育て世帯に対し、支払った金額の2分の1に相当する額の給付金を支給する。

総事業費約4,700万円を可決